

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	職員側で虐待はないと考えていても、視点の違いにより感じ方は変わってきたり、また経済的虐待についても学ぶ必要がある。	経済的虐待について不必要な支出を見直す。また、言葉による行動制限や抑制が拘束になり得ることを職員に伝えていく。	排泄用品はメーカー、サイズによって価格が変わる為、定期的な見直しを行う。また、会議の場などを利用して身体拘束廃止にかかるマニュアルの確認を行い職員の意識向上を図る。	12ヶ月
2	15	コロナ禍のため利用者への面会制限等を行っており、感染状況によっては外出等も制限し、地域や馴染みの場所、また家族や友人との繋がりを維持することが困難になってきている	家族や地域との繋がりが途切れないような工夫をしながら支援していく。	便りや地域通信、電話等でホームでの生活や状況を詳しくお知らせする。また、ご家族の希望やご本人の状況に応じて、電話やリモートでの面会を活用していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。